

平成28年度第1回金沢市障害児・者福祉施設連絡会議 報告書

日 時	平成28年5月27日（金）14：10～15：10
場 所	金沢福祉用具情報プラザ 2階 研修室
出席者	会員18人（欠席：ふじのき寮、石川療育センター、鈴見台虹の家）
行 政	市障害福祉課 徳山自立支援係長、濱田自立支援係主査
事務局	安田館長、鳥本専門員
結 果	<p>(1) 平成27年度事業報告および決算報告について 事務局より資料に基づき説明し、承認された。</p> <p>(2) 役員改選について 事務局より資料に基づき説明し、協議の結果、以下の通りとなった。</p> <p>代表幹事：奥野 常治 氏（夢工房） ※再 幹 事：藤井 宣雄 氏（ふじのき寮） ※再 幹 事：浅田 平七 氏（やちぐさ） ※再 会計監事：小島 武 氏 （聖ヨゼフ苑） ※再 会計監事：九笹 誠 氏 （ながさか） ※再 （任期：平成28年6月10日～平成30年6月9日）</p>
行政説明	<p>会員からの事前質問事項について、金沢市障害福祉課より説明があった。</p> <p><優先調達推進法について> 平成27年度分については現在集計中で、6月中旬にホームページ上に実績と目標を掲載予定。平成26年度分について説明があった。 ⇒優先調達法の調達先としては指定されていないセルプ等に発注した報告も上がっている。毎年の発注額は増加傾向にある。（市障害福祉課 徳山係長）</p> <p>役務費が多く、物品購入が少ないのではないか。物品販売ならできるという施設もあるので、保育園で出すおやつに時々採用するなど、物品購入にも力を入れて欲しい。（ひろびろ作業所：野間氏） ⇒役務費は、長期契約になるので、単発的な物品購入と比較すると金額自体は高く見えると思うが、金額だけで判断しないで欲しい。また、優先調達法の実績として計上されないセルプ等からの購入も、平成26年度は21件の報告がある。ただ、保育園のおやつに採用したらどうかというような、具体的な提案があれば、ぜひ今年度担当である自分宛てに連絡してほしい。（市障害福祉課 徳山係長）</p>

	<p><その他意見> 熊本地震があったので、金沢市の福祉避難所はどうなっているのか、市に電話で確認をしたが、現在整備中だからと満足できる回答が得られず、冷たい対応に感じた。（ひろびろ作業所：野間氏） ⇒この件については同じ障害福祉課ではあるが、企画庶務課担当となり、詳細は分からないので、この場では回答できず申し訳ない。たしかに整備中のため、もう少し回答をお待ちいただきたい。また、不適切な電話対応については、問題だと思うので課に持ち帰る。（市障害福祉課 徳山係長）</p>
<p>主な意見</p>	<p><役員改選について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き現行体制で行うことに異論はないが、新しい風を取り入れ、変わろうとしていく意識も必要だと思う。変革を求めることについて、今後は他の会員たちも考えていくことを提案したい。（たけまた友愛の家：吉谷氏） ・会がやっていることは10年間変わっていない。もう少し時代に沿う活動を考えて欲しい。金沢市の福祉施設を総合する会なのだから、行政に対する要求など福祉施設の意見を訴え、反映されるような会にしたい。そういう新しい活動ができる機会を模索すべきではないか。（ワークショップひなげし：瀬町氏） ・先ほどの優先調達法のように意見が活かされるのだから、こういう機会に積極的に意見を提案してもらい、会を盛り立ててもらえたら良いと思う。また、法も新しくなったので、まずはベテランの方に役員をやってもらった方がよいのではないか。（アカシヤの里：林氏） ・福祉施設のいろいろな要望について、金沢市に訴えていくことが必要だと思う。実現の有無にかかわらず、会の総意として伝えていくことが重要。そういう努力の積み重ねが活かされると思う。そのことを視野に入れて、会の活動を考えて欲しい。（ワークショップひなげし：瀬町氏） ・新しい物を吸収していく連絡会になってほしいという気持ちで、会員の意識改革の必要性を伝えたい。（たけまた友愛の家：吉谷氏）